

科目名	邦楽演奏研究 I～IV [院]	形態	実技	開講期	春・秋
担当教員	実技担当教員	単位	2	年次	1,2

＝授業科目の目標＝

最も古く、また最も音楽性の高い箏組歌。そして対極にある最も現代的で、将来古典曲として生き残るであろう名曲として価値の定まった現代曲を習得させる。この事によって、院修了後の演"奏家として、指導者としての可能にする事を目標とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

公刊されていない秘曲、稀曲を積極的に取り組ませる。

その事によって稀少性を持つ演奏家を目指させる。一般的ではないが、芸術性に於て最高峰の楽曲を与える。

＝授業内容＝

(1年次)

1期 光崎栓校の最高傑作の「秋風の曲」の履修により、組歌の本質を知るよすがとする。現代曲は清水脩作品を中心として巾広い曲種に挑戦させる。

2期 学部時代には不可能だった超難曲(古典、宮城曲、現代邦楽の3分野)から適宜選曲する。

(2年次)

3期 院定演に向けての曲の選曲と共に、引き続き難曲への挑戦を続ける。

4期 秋の定演でのソロ曲並びに、院アンサンブル、学部アンサンブルの頂点としての楽曲の修得を最終目標にし、その後の演奏家指導者としての出発点とする。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

院生として、楽譜を離れ、自由な精神、創造力に満ちた演奏を評価すると共に、演奏姿勢としての自然体を体現出来ているかを基準とする。

＝その他＝

特になし